

D ドライブライン / アクスル

RAX リヤアクスル・ドライブシャフト

作業上の注意	2	リヤドライブシャフト	8
・注意	2	・取り外し、取り付け	8
準備品	3	・分解、組み立て	8
・特殊工具	3	サービスデータ	17
ホイールハブ	5	・ホイールベアリング	17
・車載上の点検	5	・ドライブシャフト	17
・取り外し、取り付け	5	・ドライブシャフト	17
・分解、組み立て	6	・締付トルク	17

A

B

C

RAX

E

F

G

H

I

J

K

L

作業上の注意

PF0:00001

注意

JDS001XD

- ブッシュ類の最終締め付けは、車両接地後、空車状態で行う。また、オイルの付着はラバーブッシュ類の耐久性を低下させるので必ず拭き取ること。
 - 空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油が運行に必要な整備をした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておくこと。
 - サスペンション部品を整備したときは、必ずホイールアライメントを点検すること。
- ドライブシャフト分解整備時は下記に注意すること。
- できるだけゴミ、ほこりのない場所で作業すること。
 - 分解整備を行う前に部品の外側を洗浄すること。
 - 分解整備を行う場所を清潔にし、部品を汚したり異物が混入しないようにすること。
 - 分解した部品は、確実に順序正しく取り付けること。作業を中断する場合は、部品の上に清潔なカバーをかけておくこと。
 - ウエスはペーパーウエスを使用する。布製のウエスを使用すると、糸クズが付着する恐れがあるため使用しないこと。
 - 分解した部品（ゴム部品は除く）は白灯油で洗浄し、エアブロー又は、ペーパーウエスを使用し油切りをすること。

準備品

準備品
特殊工具

PF:00002

JDS001XE

A

B

C

RAX

E

F

G

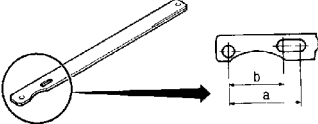
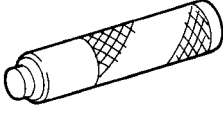
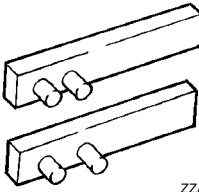
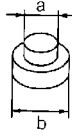
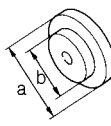
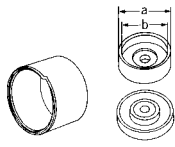
H

I

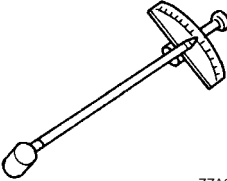
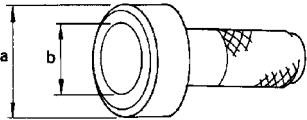
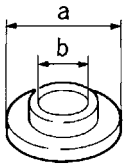
J

K

L

名称	用途
<p>ハブロックナットレンチ KV401 04000 a:85mm b:66mm</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0802D</p>	<ul style="list-style-type: none"> ロックナット脱着 ドライブシャフト取り外し及び取り付け
<p>ドリフト ST3325 1000</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0982D</p>	<p>ホイールハブ取り外し</p>
<p>ダミーシャフトストッパー ST3121 3000 ST3185 2000</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0983D</p>	<p>ホイールハブ取り外し</p>
<p>ドリフト ST3306 1000 a:φ28.5mm b:φ38.0mm</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0969D</p>	<p>ホイールベアリングのアウト側インターレース取り外し</p>
<p>ドリフト ST3302 2000 a:φ67mm b:φ51mm</p>  <p style="text-align: center;">ZZA1051D</p>	<p>ホイールハブ取り付け</p>
<p>ドリフト KV401 053S0 KV401 05310 a:φ89.1mm b:φ80.7mm KV401 05320 KV401 05330</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0808D</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホイールベアリング脱着 ホイールハブ取り付け プラグ取り付け
<p>ドリフト KV401 052S0 KV401 05210 KV401 05220 a:φ75mm b:φ62mm KV401 05230</p>  <p style="text-align: center;">ZZA1101D</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホイールハブ取り付け プラグ取り付け

準備品

名称	用途
<p>プリロードゲージ ST3127 S000</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0806D</p>	<p>ボールジョイントしゅう動トルク測定</p>
<p>ドリフト KV381 00500 a:φ80mm b:φ60mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0701D</p>	<p>プラグ取り付け</p>
<p>ドリフト KV381 02200 a:φ90mm b:φ31mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0920D</p>	<p>プラグ取り付け</p>

ホイールハブ

PF:43202

車載上の点検

JDS001XF

リアアクスルに異常な遊び、割れ、摩耗やその他損傷がないか点検する。

- リヤホイール（左右）を動かし、遊びを点検する。
- アクスルの全てのナット、ボルトは指定トルクで締め付ける。

リヤホイールベアリング

リフトアップなどの状態で、次の点検を行う。

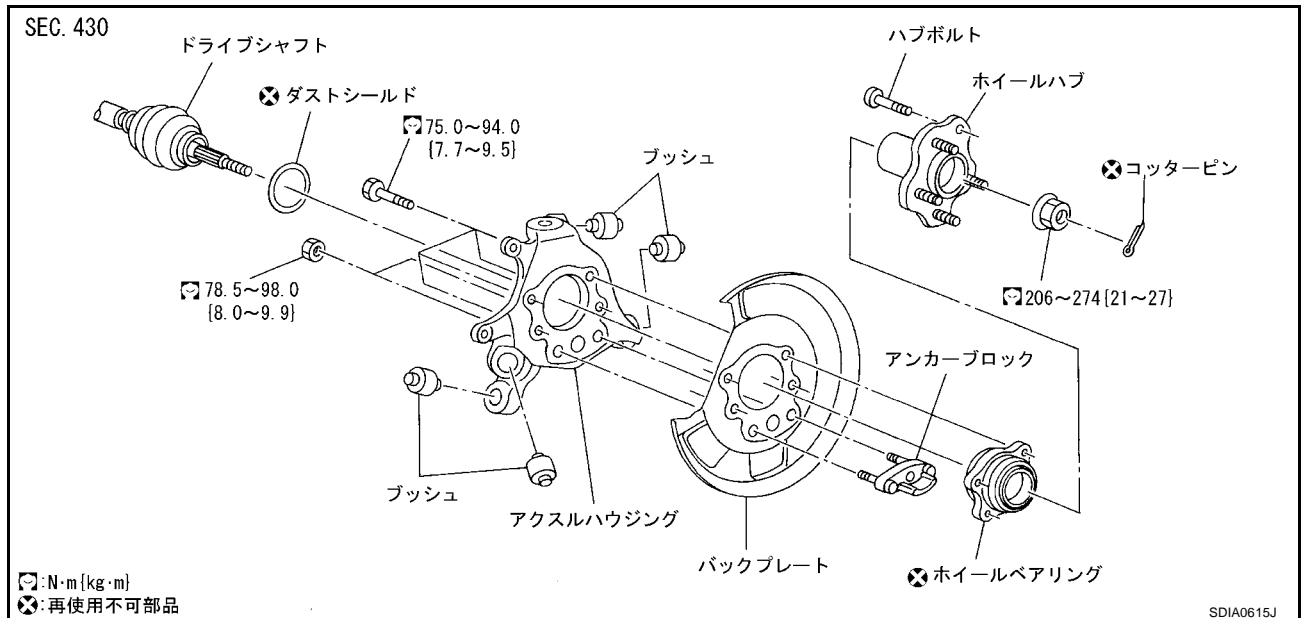
- ホイールハブを手で軸方向に動かし、リヤホイールベアリングにガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー : 0 ~ 0.05mm

- ホイールを回転させて異音がないかを点検する。
- 点検して異常のある場合は、ボールベアリング ASSY を交換する。

取り外し、取り付け

JDS001XG



取り外し

1. タイヤを取り外す。
2. コッターピンを外し、ハブロックナットレンチ（特殊工具：KV401 04000）を用いてロックナットをドライブシャフトより取り外す。
注意： ホイールベアリング、ホイールハブに異常のない限り、ホイールハブからホイールベアリングを取り外さないこと。また、ホイールベアリングを分解するときは、異常（異音、ゴリ感等）がある場合のみ作業を行うこと。
3. ブレーキキャリパーを外し、ブレーキキャリパーをじゃまにならない所へ吊るしておく。
注意： ブレーキキャリパーを外している間はブレーキペダルを踏まないこと。
4. ディスクローターを外し、パーキングケーブル及びパーキングブレーキシューをバックプレートより取り外す。「PB パーキングブレーキ」の「[取り外し](#)」(PB-3 ページ)を参照すること。
5. ラジアスロッドを取り外す。
6. ミッションジャッキをリヤロアリンクにセットし、フロントロアリンク、リヤロアリンクの取付ボルト及びナットを緩め、ショックアブソーバー下側取付ボルト及びナットを取り外す。
7. ミッションジャッキをゆっくり下げ、コイルスプリングをリヤロアリンクより取り外す。
8. ショックアブソーバー、フロント及びリヤロアリンクをアクスルハウジングより取り外す。

ホイールハブ

9. ドライブシャフトをアクスルハウジングより取り外す。
10. コッターピン及びナットを外し、ボールジョイントリムーバー（汎用工具）を用いて、サスペンションアームをアクスルハウジングより取り外す。
注意： ボールジョイントリムーバー（汎用工具）を使用するときは、ナットを面一まで仮締めし、ネジ部に損傷を与えないこと。

取り付け

- 構成図「[取り外し、取り付け](#)」(FAX-9 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

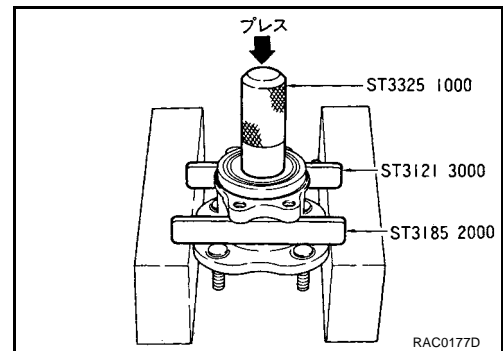
注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。

分解、組み立て

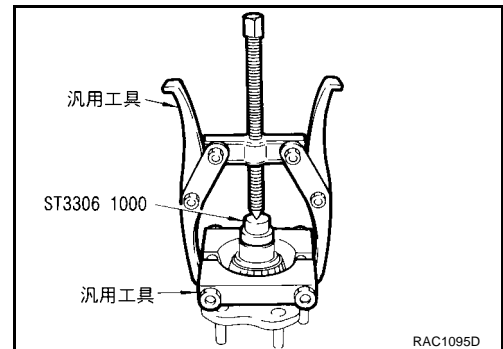
JDS001XH

分解

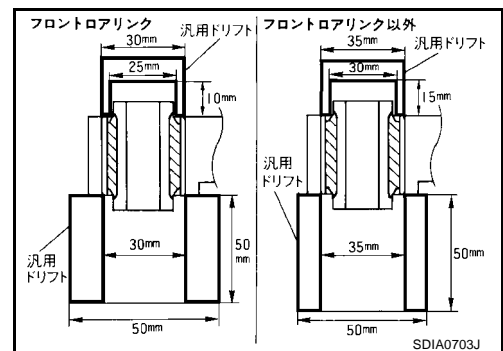
1. アクスルハウジング車両内側のホイールベアリング取付ボルト（4 本）及びアンカーブロック取付ナット（2 個）を外し、ホイールハブ、バックプレート及びアンカーブロックをアクスルハウジングより取り外す。
2. ドリフト（特殊工具）を用いて、プレスにてホイールハブをホイールベアリングより取り外す。



3. プーラー（汎用工具）、ドリフト（特殊工具）及びベアリングプーラー（汎用工具）を用いて、ホイールベアリングのアウト側インナーレースをホイールハブより取り外す。



4. 汎用ドリフトを用いて、各ブッシュをアクスルハウジングより取り外す。



分解後の点検

ホイールハブ

- ホイールハブに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

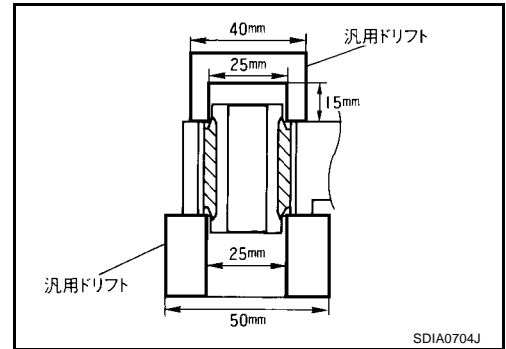
ホイールハブ

アクスルハウジング

- アクスルハウジングに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

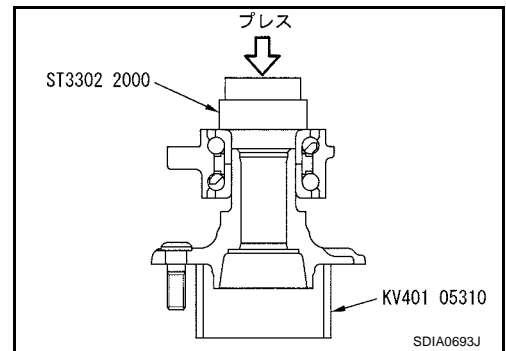
組み立て

1. 汎用ドリフトを用いて、各ブッシュをアクスルハウジングに取り付ける。



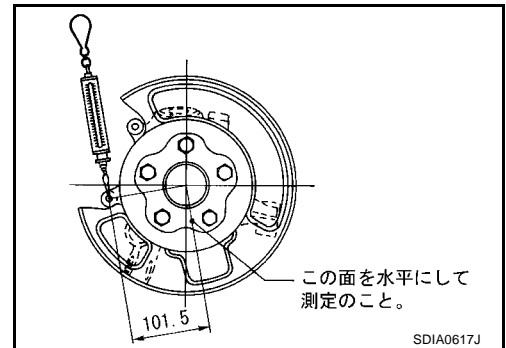
2. ドリフト(特殊工具)を用いて、ホイールハブをホイールベアリングに取り付ける。

- 注意:**
- ホイールベアリングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
 - ホイールハブのみの作業であっても、ホイールベアリングを交換すること。



3. 手順2の状態から 49033N{5001kg} を加え、ホイールベアリングを正逆方向になじみ回転を 10 回転行う。

参考: 49033N{5001kg} の荷重をかけられない場合、バックプレート及びホイールベアリングをアクスルハウジングに取り付けた後、ドライブシャフトを組み付けロックナットを規定トルクで締め付け、正逆方向になじみ回転を 10 回転行う。



4. バックプレート及びホイールベアリングをアクスルハウジングに取り付ける。
5. ブレーキキャリパー取付位置にバネ秤をかけ、回転速度 10 ± 2 rpm にて回転トルクを測定する。

回転トルク : $1.88\text{N}\cdot\text{m}\{0.19\text{kg}\cdot\text{m}\}$ 以下

バネ秤の測定値 : $18.5\text{N}\cdot\text{m}\{1.90\text{kg}\}$ 以下

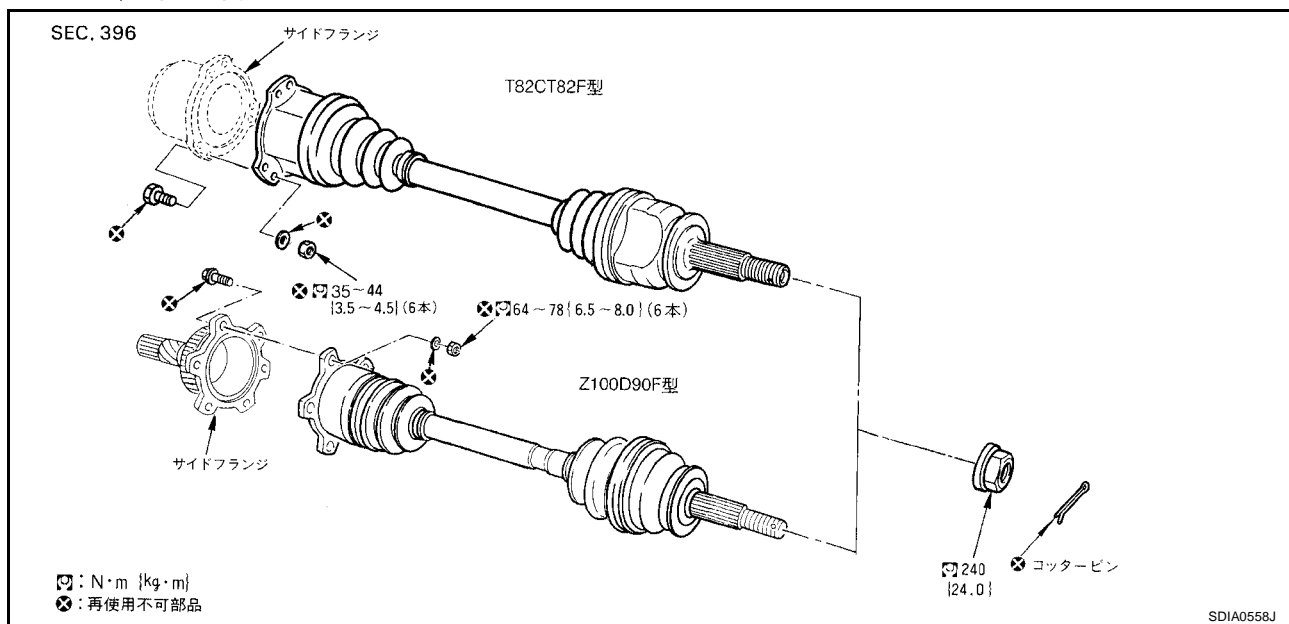
- 基準値を外れる場合は、ホイールベアリングを交換する。
6. 軸方向にガタがないか点検する。
 7. アンカーブロックをアクスルハウジングに取り付ける。

リヤドライブシャフト

PF:39600

取り外し、取り付け

JDS002IX



取り外し

1. タイヤを取り外す。
2. コッターピンを取り外し、ハブロックナットレンチ(特殊工具:KV401 04000)を用いて、ロックナットを取り外す。
3. リヤドライブシャフト取付ボルト及びナットを外し、リヤドライブシャフトを車両より取り外す。

取り外し後の点検

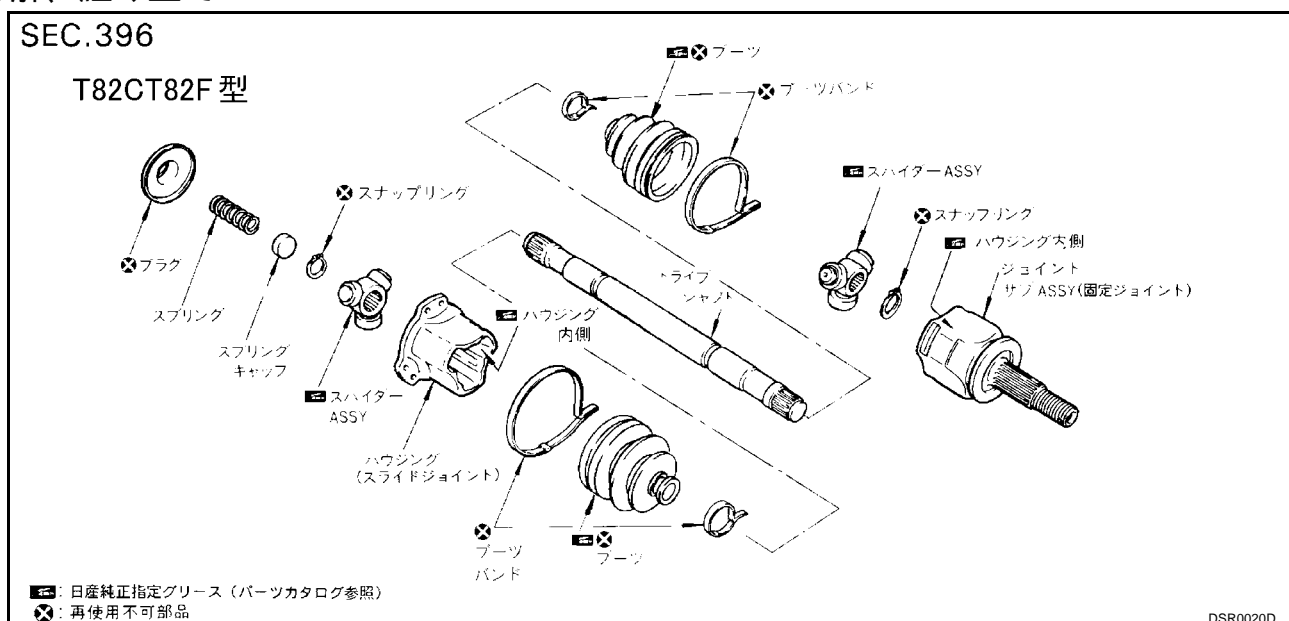
- ジョイント部を上下、左右、軸方向に動かし、不円滑な作動、著しいガタがないことを点検する。
- ブーツのき裂、損傷及びグリース漏れがないことを点検する。

取り付け

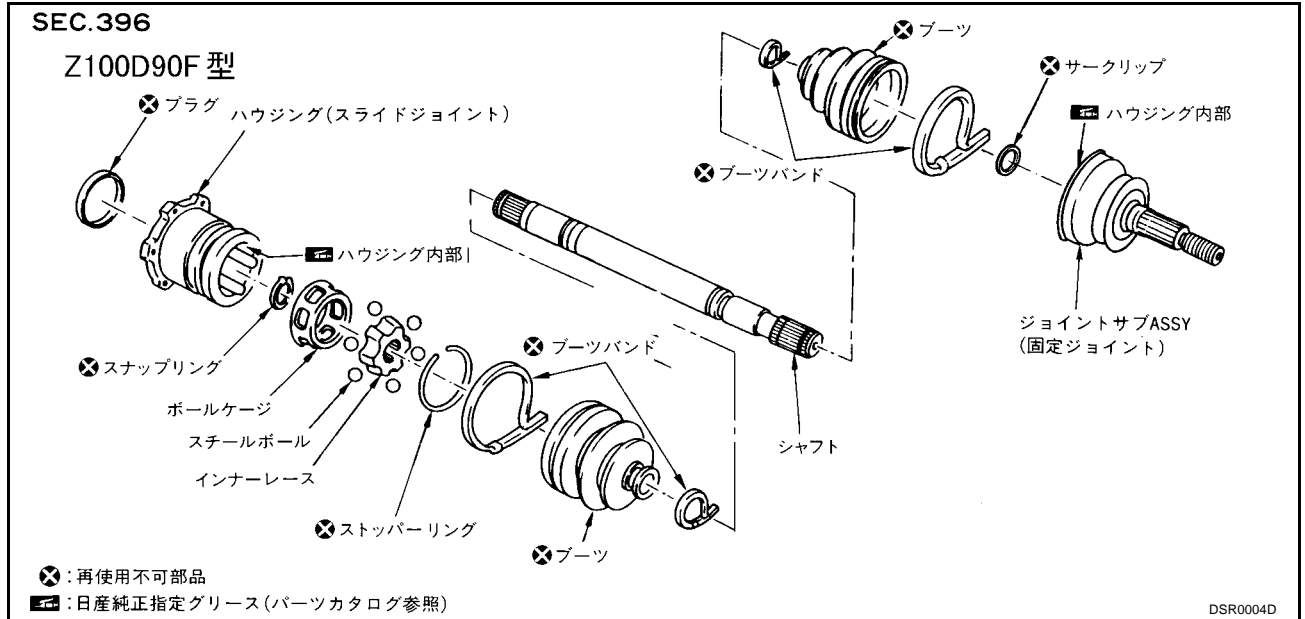
- 取り外しの逆の手順で取り付け、各ボルトナットを規定トルクで締め付ける。

分解、組み立て

JDS002IY



リヤドライブシャフト



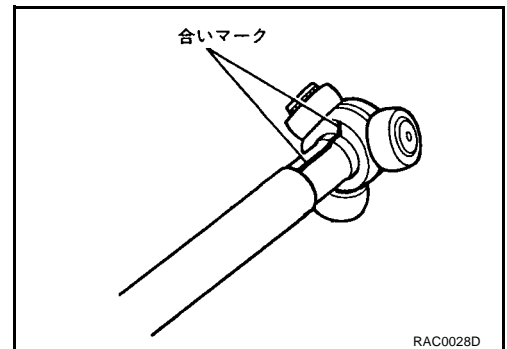
分解前点検

- ジョイント部を上下、左右、軸方向に動かし、不円滑な作動、著しいガタがないことを点検する。
- ブーツのき裂、損傷およびグリース漏れがないことを点検する。

分解

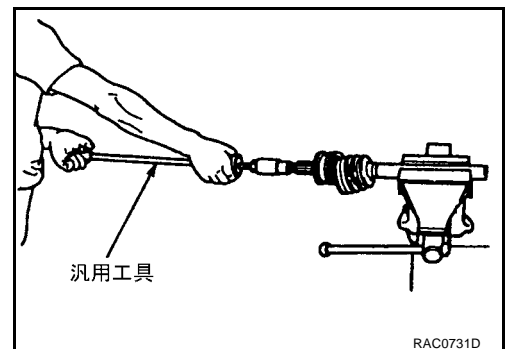
ホイール側 (T82CT82F)

1. ブーツバンドを取り外す。
2. ジョイントサブ ASSY を取り外す。
3. シャフトを万力に固定する。
注意: 万力で固定する場合は、銅板、アルミ版などを介して固定すること。
4. シャフトとスパイダー ASSY に合いマークを付ける。
注意: 合いマークはペイントなどを使用し、傷は付けないこと。
5. スナップリングを外し、スパイダー ASSY をシャフトから抜き取る。
注意: スパイダー ASSY は非分解のため、分解しないこと。
6. ブーツをシャフトから抜き取る。



ホイール側 (Z100D90F)

1. ドライブシャフトを万力で固定する。
注意: 万力で固定する場合は、銅板、アルミなどを介して固定する。
2. ブーツバンドを外し、ブーツをジョイントサブ ASSY より取り外す。
3. ドライブシャフトプーラー(汎用工具)をジョイントサブ ASSY のネジ部に 30mm 以上ねじ込み、ジョイントサブ ASSY をシャフトより抜き取る。
注意: ジョイント ASSY の抜き取り作業を 5 回以上行って外れない場合は、ドライブシャフト ASSY で交換すること。

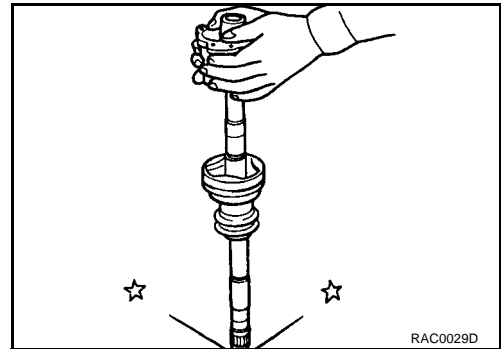


リヤドライブシャフト

4. サークリップをシャフトより取り外す。
5. 古いグリースを除去する。

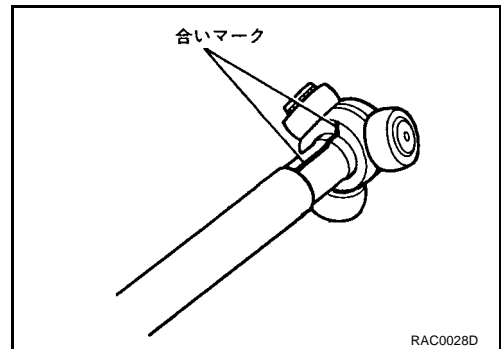
ファイナルドライブ側 (T82CT82F)

1. ブーツバンドを取り外す。
2. 図のようにハウジングを持ち、プラグを軽く押さえるようにして、シャフト下面をあて木などでたたき、プラグを取り外す。
注意: 打ち抜き時、スプリング、スプリングキャップなどが飛ばさないようにハウジングをウエスなどでくるんで作業を行うこと。



3. ハウジングをシャフトより取り外す。
4. シャフトを万力に固定する。
注意: 万力で固定する場合は、銅板、アルミ板などを介して固定すること。

5. シャフトとスパイダー ASSY に合いマークを付ける。
注意: 合いマークはペイントなどを使用し、傷を付けないこと。
6. スナップリングを外し、スパイダー ASSY をシャフトより取り外す。
注意: スパイダー ASSY は非分解のため、分解しないこと。
7. ブーツをシャフトより取り外す。



ファイナルドライブ側 (Z100D90F)

1. ブーツバンドを取り外す。
2. ストップリングを外し、ハウジングを取り外す。
3. スナップリングを外し、ボールケージ、スチールボール、インナーレースをシャフトより組み付いた状態で取り外す。
4. ブーツを取り外す。
注意:
 - ブーツ破れなどにより、グリース内に異物が混入している場合は、ボールケージ、スチールボール ASSY を分解、点検する。
 - ボールケージ及びスチールボール ASSY の分解は、グリースを洗浄後行うこと。
 - スチールボール等の構成部品に異常がある場合は、ジョイント ASSY で交換すること。
5. ドライバーを用いて、スチールボールを 1 個ずつ取り外す。
6. ボールケージの大径側からインナーレースを抜き取る。
注意: スチールボール取り外し時に、スチールボール及びインナーレースのボール転動面に傷を付けない。

点検

シャフト

- シャフト部に振れ、き裂及び損傷があればシャフトを交換する。

ブーツ及びブーツバンド

- ブーツ及びブーツバンドは、一度外したら新品と交換する。

リヤドライブシャフト

ジョイントサブ ASSY (固定ジョイント側)

- ジョイントの回転具合、軸方向の異常なガタがないか。
- ジョイント内部の異物混入がないか。

注意: ジョイントサブ ASSY の構成部品に異常がある場合、ジョイントサブ ASSY で交換すること。

ハウジング (スライドジョイント) (Z100D90F 型)

- ボール転動面に損傷、異常摩耗がないか。
- シャフトのネジ部に損傷がないか。
- ブーツ取付部に変形がないか。

ボールケージ

- しゅう動面に損傷、異常がないか。

スチールボール

- 損傷、異常摩耗がないか。

インナーレース

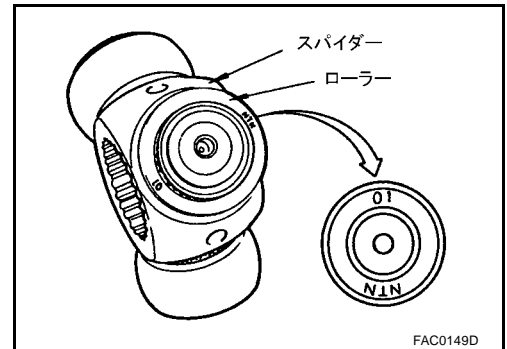
- ボール転動面に損傷、異常がないか。
- セレクション部に損傷がないか。

T 型スライドジョイント (T82CT82F 型)

- ハウジングのローラー接触面に傷、摩耗がある場合、スパイダー ASSY のローラー面に傷、摩耗がある場合は、ハウジング及びスパイダー ASSY を交換する。

参考: ハウジング交換の際、セット部品としてスパイダー ASSY が含まれている。

- スパイダーのローラーに円周方向のガタ、回転ムラがある場合はスパイダー ASSY を交換する。
- スパイダー ASSY の交換は、図のようにローラーに打刻された刻印番号と同じ部品を下記から選択し、組み付ける。



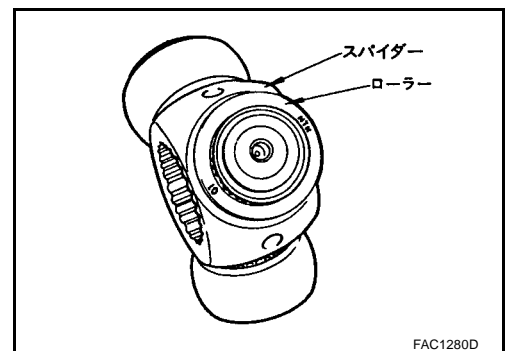
刻印番号	部品番号	型式
00	39720 10V10	T82C T82F
01	39720 10V11	
02	39720 10V12	

D 型スライドジョイント (Z100D90F 型)

- ハウジングのローラー接触面に傷、摩耗がある場合、スパイダー ASSY のローラー面に傷、摩耗がある場合は、ハウジング及びスパイダー ASSY を交換する。

参考: ハウジング交換の際、セット部品としてスパイダー ASSY が含まれている。

- スパイダーのローラーに円周方向のガタ、回転ムラがある場合はスパイダー ASSY を交換する。
- スパイダー ASSY の交換は、図のようにローラーに打刻された刻印番号と同じ部品を下記から選択し、組み付ける。



リヤドライブシャフト

組み立て

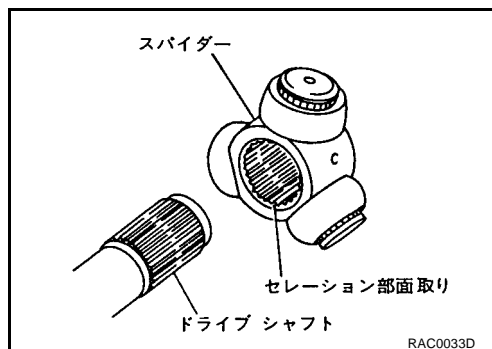
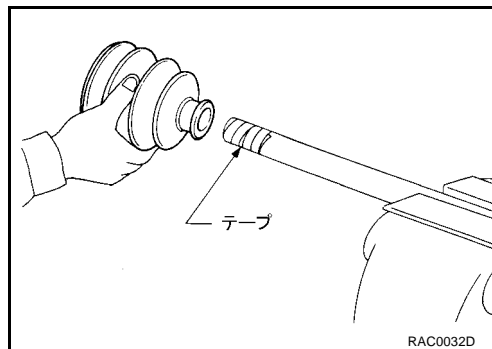
ホイール側 (T82CT82F)

1. ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、新品のブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

注意: ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

2. シャフトのセレーション部に巻いたテープを外す。
3. スパイダー ASSY を取り外し時に付けた合いマークに合わせ、セレーション部の面取りがドライブシャフト内方向となるように取り付ける。
4. スパイダー ASSY をスナップリングで固定する。
5. 日産純正指定グリースをスパイダー ASSY 及びしゅう動部に塗布する。
6. ジョイントサブ ASSY にシャフトを挿入する。
7. ジョイントサブ ASSY に日産純正指定グリースを下記容量まで充てんする。

グリース量 : 102 ~ 112g

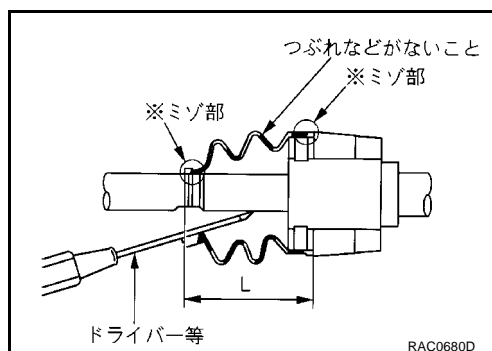


8. ブーツを図の溝部 (部) へ確実に取り付ける。

注意: ジョイントサブ ASSY のブーツ取付面 (部) にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがあるので、付着したグリースは除去すること。

9. ブーツの長さ (L) が下記寸法のとおり、小径側からマイナスドライバーなどを差し込み、ブーツ内のエア抜き、ブーツの変形を防止する。

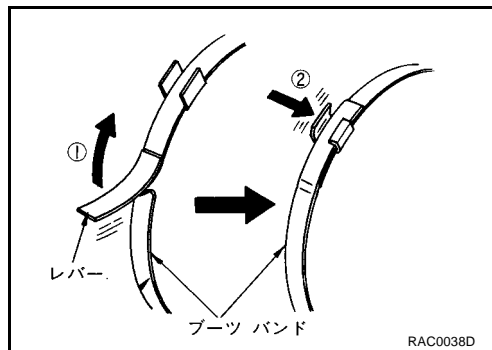
ブーツ取付長さ : 95 ~ 97mm



注意:

- ブーツ取付長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。
- ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意すること。

- ブーツの大径側及び小径側を図のように新品のブーツバンドで固定する。
- ブーツの取付状態を確認する。ジョイントを回し、ブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付ける。



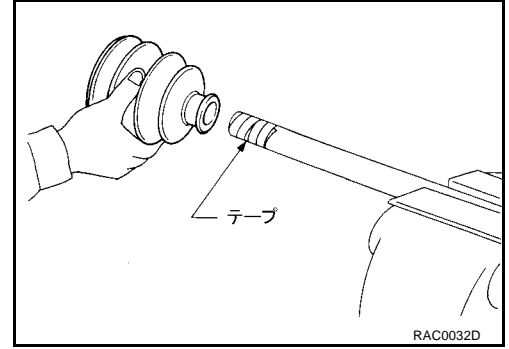
リヤドライブシャフト

ファイナルドライブ側 (T82CT82F)

1. ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、新品のブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

注意: ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

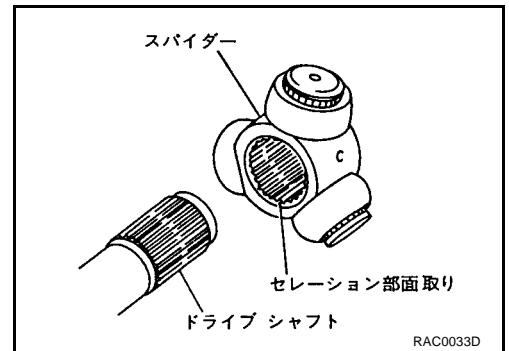
2. シャフトのセレーション部に巻いたテープを外す。



3. スパイダー ASSY を取り外し時に付けた合いマークに合わせ、セレーション部の面取りがドライブシャフト内方向となるように取り付ける。

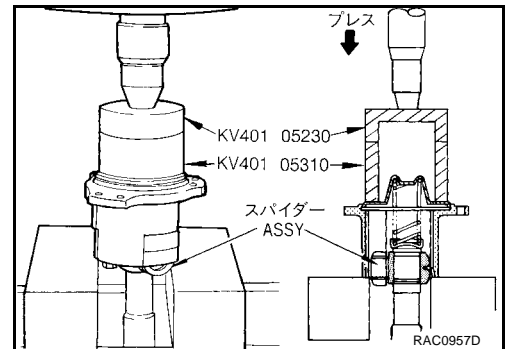
4. スパイダー ASSY をスナップリングで固定する。

5. 日産純正指定グリースをスパイダー ASSY 及びしゅう動部に塗布する。



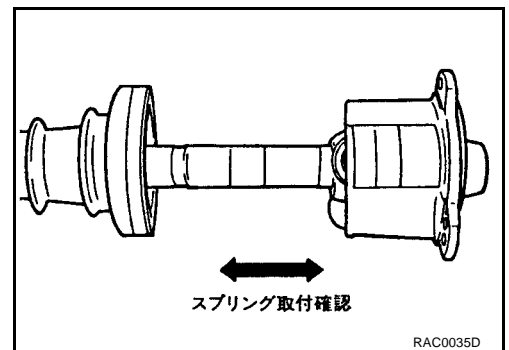
- 6.ハウジングにシャフトを挿入する。

7. スプリングキャップ及びスプリングをシャフトエンドに載せ、プラグの突起部にスプリングを合わせて、図のようにドリフト(特殊工具)を用いてプラグを圧入する。



注意: プラグを圧入する際は、プラグ内のスプリングが倒れ込まないようにスプリングを軽く押しながら圧入すること。

- シャフトを軸方向に動かしてスプリングが正規に取り付いていることを確認し、こじれ感などの異常がある場合は、プラグを取り外して再度、組み付け直す。そのとき外したプラグは、再使用しないこと。



リヤドライブシャフト

8. 日産純正グリースを下記容量まで充てんする。

グリース量 : 128 ~ 138g

9. ブーツを図の溝部 (部) へ確実に取り付ける。

注意: ジョイントの溝部 (部) に付着したグリースは、除去すること。ブーツ取付面にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがある。

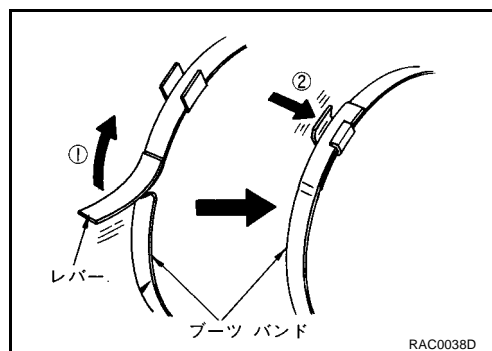
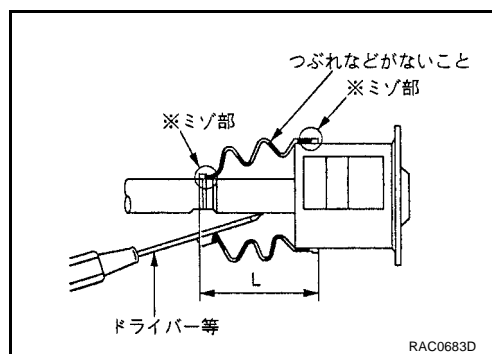
10. ブーツの長さ (L) が下記寸法であることを確認し、小径側からマイナスドライバー等を差し込み、ブーツ内側のエア抜き、ブーツの変形を防止する。

ブーツ取付長さ (L) 95 ~ 97mm

- 注意:**
- ブーツ取付長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。
 - ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意すること。

11. ブーツの大径側及び小径側を図のように新品のブーツバンドで固定する。

注意: ジョイント部を回してブーツの取り付け位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付けすること。

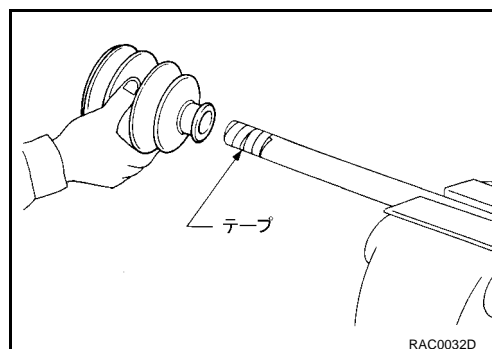


ホイール側 (Z100D90F)

1. ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、新品のブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

注意: ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

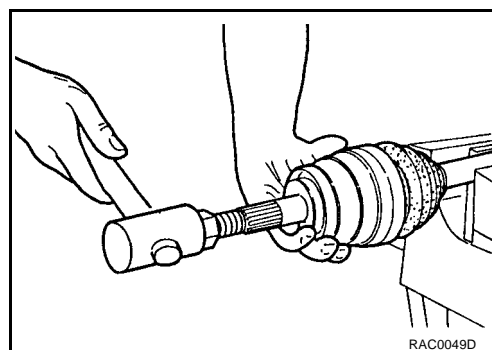
2. シャフトのセレーション部に巻いたテープを外す。



3. シャフト溝部にサークリップを確実に取り付ける。ジョイントサブ ASSY にナットを仮付けし、木ハンマーなどを用いてジョイントサブ ASSY をシャフトに取り付ける。

4. ブーツの大径側からハウジングに残りの日産純正指定グリース (パーツカタログ参照) を充てんする。

グリース量 : 113 ~ 123g



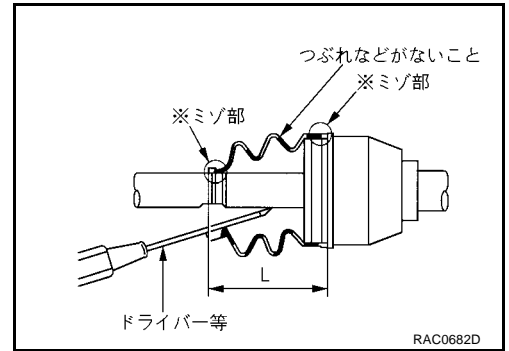
リヤドライブシャフト

5. ブーツを図の溝部（部）へ確実に取り付ける。

注意： ジョイントサブ ASSY のブーツ取付面（部）にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがあるので、付着したグリースは除去すること。

6. ブーツの長さ（L）が下記寸法するとき、小径側からマイナスドライバーなどを差し込み、ブーツ内のエア抜き、ブーツの変形を防止する。

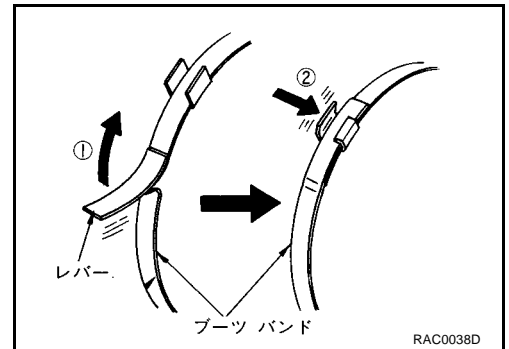
ブーツ取付長さ（L）：96.0～98.0mm



注意： ブーツ取付長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。

• ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意すること。

- ブーツの大径側及び小径側を図のように新品のブーツバンドで固定する。
- ブーツの取付状態を確認する。ジョイントを回し、ブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付ける。



ファイナルドライブ側（Z100D90F）

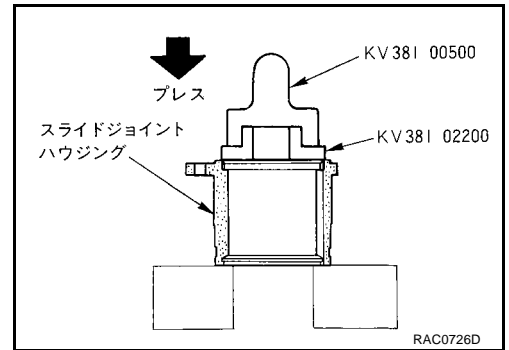
1. プラグを取り外した場合は、ドリフト（特殊工具）を用いて、プラグを圧入する。

注意： プラグは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

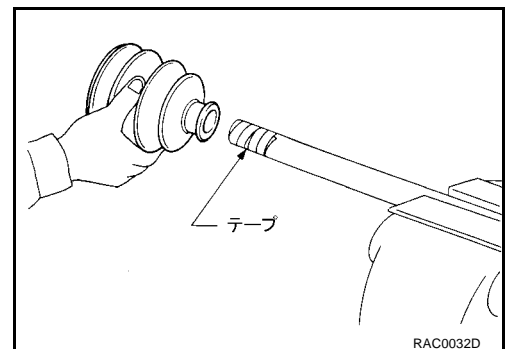
2. ボールケージの大径側からインナーレースを挿入する。

3. ケージポケットにグリースを塗り、6個のボールを組み付ける。

注意： インナーレースの取付方向性はなし。



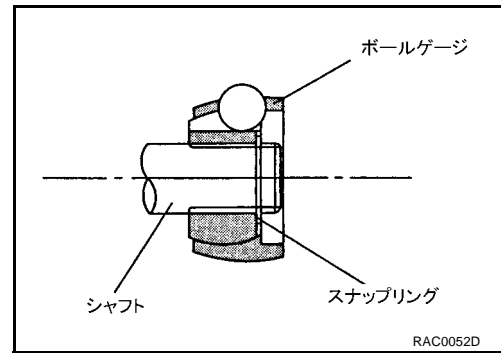
4. ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、新品のブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。



リヤドライブシャフト

5. 3項で組み付けたボールケージ、スチールボール、インナーレースをシャフトに取り付け、スナップリングで確実に固定する。

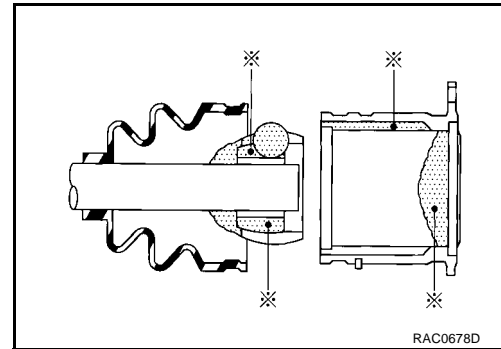
注意：スナップリングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



6. スライドジョイントハウジング（部）に日産純正指定グリース（パーツカタログ参照）を充てんし、シャフトに組み付ける。

グリース量 : 165 ~ 175g

7. スライドジョイントハウジングにストッパーリングを取り付ける。
8. 取り付け後、シャフトを引っ張って、ジョイント ASSY とストッパーリングの掛かり具合を確認する。

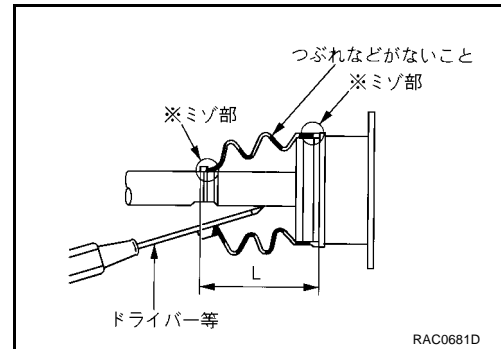


9. ブーツを図の溝部（部）へ確実に取り付ける。

注意：ジョイントのブーツ取付面（部）に付着したグリースは除去すること。ブーツ取付面にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがある。

10. ブーツの長さ (L) が下記寸法のと看、小径側からマイナスドライバー等を差し込み、ブーツ内のエアを抜き、ブーツの変形を防止する。

ブーツ取付長さ (L) : 92.9 ~ 94.9mm

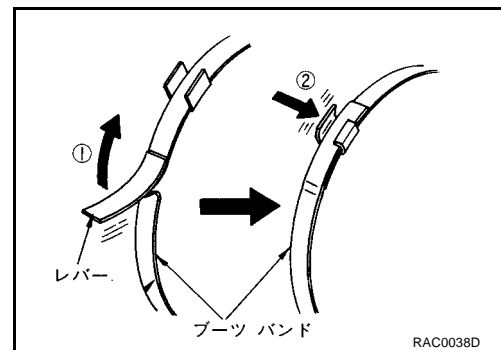


注意：

- ブーツ取付長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。
- ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意すること。

11. ブーツの大径側及び小径側を図のように新品のブーツバンドで固定する。

注意：ジョイント部を回してブーツの取り付け位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付けすること。



サービスデータ

サービスデータ ホイールベアリング

PF0:00030

JDS001XK

A

B

C

RAX

E

F

G

H

I

J

K

L

回転トルク	1.88N・m 以下 { 0.19kg・m 以下 }
バネ秤の測定値	18.5N 以下 { 1.90kg 以下 }
バネ秤取付位置	ブレーキキャリパー取付位置
軸方向エンドプレー	0 ~ 0.05mm

ドライブシャフト

JDS001XL

T82CT82F

C

E

F

G

H

I

J

K

L

ジョイントタイプ	ファイナルドライブ側	T82F	
	ホイール側	T82C	
グリース量	ファイナルドライブ側	128 ~ 138g	
	ホイール側	102 ~ 112g	
ブーツ取り付け長さ	ファイナルドライブ側	95 ~ 97mm	
	ホイール側		
ファイナルドライブ側 及びホイール側スパイ ダーアッセンブリー	刻印番号	部品番号	型式
	00	39720 10V10	T82C T82F
	01	39720 10V11	
	02	39720 10V12	

ドライブシャフト

JDS001XM

Z100D90F

F

G

H

I

J

K

L

ジョイントタイプ	ファイナルドライブ側	D90F
	ホイール側	Z100
グリース量	ファイナルドライブ側	165 ~ 175g
	ホイール側	113 ~ 123g
ブーツ取り付け長さ	ファイナルドライブ側	92.9 ~ 94.9mm
	ホイール側	96.0 ~ 98.0mm

締付トルク

JDS001XN

単位：N・m{kg・m}

I

J

K

L

ドライブシャフト～サイドフランジ	35 ~ 44 { 3.5 ~ 4.5 } (T82CT82F)
	64 ~ 78 { 6.5 ~ 8.0 } (Z100D90F)
ドライブシャフトナット	240 { 24.0 }

